

阪本安一先生記念基金講座

授 業 科 目 名		必修の区分	単位数	開 講 年 次
(経営学特殊講義) 国際化時代の会計学(経営学部・専門科目) (Accounting in the global era)		※	4	
講 師 名	所 属	オフィスワーカー・場所		連 絡 先
頼 誠	会計研究科	※		※
講義目的	本講義は、財務会計・管理会計・公会計という多様な会計の存在を知ること、そして、企業、あるいは非営利組織において使用されている会計の国際比較を行うと共に、国境を越えた経営における会計の課題と発展について理解すること、を目的とする。本講義は上級コースとしての位置づけであり、どちらかといえば、応用発展レベルの会計知識の修得を目標とする。			
講義内容 授業計画	<p>I 講義内容 国際化時代において、企業は、日本国内だけで経営活動を行っているわけでない。外なる国際化だけではなく、内なる国際化によっても企業間競争はますます激しくなっている。外国人株主が日本企業の株を持つようになり、もの言う株主が増えてきたことにより、何が変わったのだろうか。グローバル企業はどのような会計上の問題に直面しているのだろうか。日本の会計は、海外の会計とどこが違うのだろうか。グローバル企業の財務諸表の「読み方」、会計情報の「使い方」についても言及する。</p> <p>なお、また、本講義は、財務会計、管理会計、公会計といった多様な会計分野の複数の教員によるリレー講義の形式をとる。</p> <p>II 授業計画</p> <p>前半は、管理会計と財務会計（たとえば、管理会計技法の国際比較、管理会計技法の海外移転、財務諸表からみた国際有力企業の比較など）を予定している。後半は、公会計（非営利組織会計の父米比較、公共部門の会計システムの国際比較など）を予定している。</p> <p>本講義は、複数の会計学の教員によって行われるため、具体的授業内容、講義の順番などは、調整中である。</p>			
テキスト				
参考文献				
成績評価の基準	中間試験 50%、期末試験 50%により評価する。			
履修上の注意 履修要件				
備 考				

※印：本学の配布資料を参照してください。